

[特集]

熊本震災と 法・政策

2016年4月14日以降たび重なる大地震に見舞われた熊本の震災から1年が経った。1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災、そして昨年の熊本など、日本中どこでも震災に見舞われる危険があるのが現実であり、震災に関わる事前・事後の法的・政策的な課題は、改善が進んでいるものの、なお不十分な面も多い。本特集で、熊本地震が提起する法的・政策的課題を議論したシンポジウムの内容をまとめてお伝えし、次号から各論的なテーマについて検討する全5回の連載を行う。

—編集部

INDEX

本企画の趣旨について	岡田行雄	020
震災への対応から見えてきたもの	村田信一	021
熊本地震の法律相談の現場から	松村尚美	025
災害に対峙する法律学の貢献可能性	大脇成昭	030
震災があぶり出す「公助」の課題	鈴木桂樹	032
熊本震災から学んだこと、 今後につなげるべきこと —フロアからのコメントと応答		035
平成28年熊本地震 熊大黒髪避難所運営記録集「416」 —私たちがやったこと 未来へ伝えたいこと	安部美和	040